

標茶農協だより グッドラック

Good 酪

1 月号
2025
No.598

豊かな明るい農業をめざして

謹賀新年



「多和平の初日の出」

目次

新年ご挨拶(組合長)	2
新年ご挨拶(専務)	3
新年ご挨拶(青年部長)	3
新年ご挨拶(女性部長)	4
中央会 樽井会長	5
年頭ご挨拶	5
「しべちゃ牛乳でアイスを作るっ!」食育活動を開催	6
JAしべちゃ女性部	7
フレッシュユミズノ会料理教室	7
釧路地区JA女性部研修会	7
「北海道デジタル化相談会 in 釧路	7
しべちゃ町農業女性力レッシ	8
視察研修	8
東野ひでき「JAグループ北海道の農政活動強化に向けて」	9
石田先生の農業料め読み	10
普及センター通信	11
JAしべちゃ組織機構図	12
ファイヤー通信	13
第11回 理事会	13
インフォメーション	14
まちがいさがし	15
1月のカレンダー	16



「Good 酪」は
JAしべちゃの
ホームページでも
お読みいただけます



新春のお慶びを申し上げます



標茶町農業協同組合
代表理事組合長
鈴木重充

新年を迎えるにあたって

新年明けましておめでとうございます。

日頃より組合員並びにご家族の皆様には、当組合の事業活動へのご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、円安、生産資材価格の高止まりや、2024年問題による運送体制に対応等、組合員の皆様にとって厳しいスタートとなりました。

毀損した生産基盤を回復するべく「抑制からの脱却」「生産基盤の回復」と位置づけて生産をおこなってきましたが、まだまだ回復したとは言いきれません。

当JAとしても生産回復は勿論ですが、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」するためにも事業の継続、適正価格の設定等、国や関係機関への積極的に働きかけはもとより、独自対策を講じながら執り進めて参ります。

ほくげん大根の生産状況については、前半は価格面で苦戦し、後半は暑さの影響を受けましたが、価格は回復し最終的には、ほくげん大根共計出荷のみで十億円を超える販売額となりました。本年においても販売先の選考、病害虫対策、人材確保等の課題はありますが、本年以上の販売実績が確保できるよう対策を講じて参ります。

また、酪農、肉用牛農家の減少が加速という報道がされました。大きな要因として個体販売額の低迷、生産資材の高騰・高止まりですが経営者の高齢化や後継者不足もあります。国産飼料基盤の強化、家畜疾病の防疫関連対策等による「みどりの食糧システム戦略」の取り組みに向けた畜産の対策のほか、新規就農支援、価格保証制度等、生産者が営農を継続できる環境にしていく必要があると思います。

中期経営計画の見直しが終わりに今後、目標達成に向けて役職員一丸となって安定した農業経営を目指して行かなければなりません。より一層の組合員皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

本年は、標茶農協合併50年の年になります。節目として記念誌作成、祝賀会を予定しております。

詳細が決まり次第、ご連絡致しますので沢山の方々にご参加頂きたいと考えております。

結びとなりますが、本年が豊稔の年となることと、皆様のご健康をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

25



標茶町農業協同組合
代表理事専務

千葉澄子

新年を迎えるにあたり

新年あけましておめでとございます。

日頃より、組合員並びに、ご家族の皆様には、当組合の事業活動への御理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

酪農は、生乳の生産抑制が解除され、皆様のご理解のもと、前年よりも増産することができました。しかし、相変わらずの生産コスト増大に苦しんだ一年となりました。

また、個体販売の低迷、特に初生トクの価格は厳しい一年でした。哺育を担当する女性にとっては、価格のつかない状態、経営分もでない価格は、営農する気力を無くしかねないと思っています。現在、副産物も大事な収入源であり、この状況をどうにかしなくてはと思います、今後、要請していきたいと考えております。また、肉用牛については、生産基盤の持続強化を図り、所得確保に向けた取り組みを強化していきたいと思っております。

20

一方、野菜については、大根共計販売が十億円を超え、出荷量も順調でありました。高温障害・害虫の影響を受け、また、運送経費の値上げも重なり、大変な年だったと思います。生産者の皆様の御協力に感謝申し上げます。

また、長い期間を通して、色鮮やかな沢山の野菜を販売して頂きました。トマト、キュウリ、ズッキーニ、白カブ、ナス、ピーマン、ブルーベリー、パプリカ、トウモロコシ、カボチャ、長芋、サツマイモ等、私も大変美味しく頂きました。安心安全な食物を口にできることに、改めて農業は素晴らしいと感じています。

さて、私自身、専務という職をお受けして半年が経ちました。就任のあいさつで、笑顔と挨拶を大切に、共に歩んでいこうと朝礼で言ったものの、笑顔でいれる職場作りができていくかと自問自答しております。

仕事をするなら明るく楽しい仕事したいという気持ち忘れず、今後も頑張っていきたいと思っています。まだまだ未熟ものではありますが、組合員の皆様、女性農業者、職員の声に耳を傾けながら、共に歩いていくつもりですので、どうぞご指導のほど、よろしくお願い致します。

結びになりますが、本年が豊穡の年になることを祈念すると共に、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

標茶町農業協同組合

青年部部長代行 長坂 浩行

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございいます。

組合員の皆様、青年部の皆様におかれましては心よりお慶び申し上げます。昨年も党青年部活動に対しましてご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今の農業情勢は厳しい状況に置かれております。そんな中でも青年部としましては様々な活動を通して自己研鑽を重ねて参ります。厳しい時こそ知恵を出してこの難を乗り越えたいものです。

青年部もメンバーが最初期と比べ、人数が減少きておりますが、新規獲得に向けて今後もイベントを開催していく予定ですので、ご興味がある方は、お気軽に参加して頂ければ幸いです。

本年も青年部活動に変わらぬご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げます。また、皆様にとってより良い一年となりますようご祈念申し上げます。

標茶町農業協同組合

女性部部长 山本 信子

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございいます。

組合員の皆さま、役職員の皆さまには、日頃より女性部の活動に対しまして、温かいご理解とご協力、ご指導を頂き心よりお礼申し上げます。昨年はコロナがおさまり、例年通りの活動を行うことができました。また、お試し参加の呼び掛けや、女性限定視察研修の企画を行い、新たに8名の女性が加入して下さい、大変喜ばしい年でもありました。JAしべちや女性部は、いつでも新入部員のご加入を歓迎しております。そして、今年はJAしべちや女性部が50周年を迎える年もあり、昨年は節目の年でもありました。50年前と比較すると、部員は残念ながら半減してしまいましたが、これからも色々なアイデアを出し合い、女性らしい活動を取り組んで一歩一歩進んで参りたいと思います。最後になりましたが、今年も私たち女性部が変わらぬご指導とご協力をお願いすると共に、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長

樽井 巧

令和7年の年頭にあたり

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対し、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれ

ました。政府は、初動5年間を農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

JAGグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていくことが重要と考えております。

また、昨年は第31回JAG北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・JAへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組合員・JA・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、JAの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、JAGグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・JAに対する理解を深めていただき、JAGグループが提唱する「国産」の認知を広げてまいりましょう。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

「しべちゃ牛乳でアイスを作ろう！」食育活動を開催

2024年11月18日、虹別の標茶町立ひまわり保育園にて、食育活動「しべちゃ牛乳でアイスを作ろう！」が開催されました。このイベントは、地域の子どもたちに身近な食材の大切さや調理の楽しさを伝えることを目的としています。

当日は、鈴木組合長が参加し、園児たちに牛や牛乳についての話をしました。園児たちは氷を使い、牛乳を振ってアイスを作るというユニークな方法で挑戦しました。手が冷たくなりながらも、笑顔で楽しそうに作業をする姿が印象的でした。アイスが完成すると、みんなでその美味しさを味わい、楽しいひとときを過ごしました。

イベントの最後には、園児たちが保護者に嬉しそうに今日の体験を報告する姿が見られ、食育の重要性を実感する場となりました。このような取り組みは、今後も継続していく予定であり、当農協も引き続き応援していきます。



日本酪農研究会 大宮睦美さん 黒澤賞 受賞

第75回日本酪農研究会にて、大宮睦美さんが経営発表の部で、最優秀の黒澤賞を受賞致しました。

大宮さんは2017年に第三者継承で新規就農してからの牧場経営の様子を披露し、「健土健民」を基本理念として、圃場と牛の力を引き出す経営が特長で、「令和の酪農危機」と呼ばれる情勢下でも、牧場全体の売上高を伸ばすことに成功致しました。

圃場の栄養収量と牛のパフォーマンスを最大限に引き出すため、数字での管理に注力し、自給飼料生産にあたっては、専門家チームとのミーティングも定期的に行い、合理化・高品質化につなげました。

牛の能力についても、ボディーコンディションスコアをもとに飼料設計、行動調査結果からTMRの給餌回数やタイミングの見直し等を行うことで、個体乳量の引き上げに成功し、堂地修審査員長（酪農学園大学教授）からは、大宮さんの発表について「酪農経営の持続的発展へ重要かつ意義のある取組であり、最優秀賞にふさわしい」と評価を受けました。



J Aしべちや女性部

フレッシュミズの会 料理講習会

12月11日(水)にJAしべちや本所調理室にて、フレッシュミズの料理講習会「クリスマスケーキ作り」が開催され、お試し参加者も含め18名が参加し、個性豊かなケーキが完成しました。



令和6年度釧路地区JA女性部研修会

12月2日から3日にかけて釧路地区JA女性部研修会が釧路プリンスホテルにて開催され、釧路地区の女性部員と事務局、関係者を含め57名が参加しました。

1日目は研修として「災害に関する講演と演習」、「マンドゥバック作り」を行い、夜には懇親会が開催されました。2日目は研修として「ヨガ教室」、交流会として「ミニ運動会」が行われ、釧路地区の部員と楽しく交流する事が出来ました。



参加申込受付中！

「北海道デジタル化相談会 2024」 in 釧路

北海道庁主催で、道内IT企業が事業者の業務のデジタル化に関するお悩みに対応する相談会を開催します。農作物の栽培環境のモニタリングや遠隔制御、家畜の管理や農協と農家の情報連携ペーパーレス化等の実績があるIT企業も出展します。業務の効率化や負担軽減の参考に、ぜひお気軽にお申し込みください。

日時：2025年1月29日(水) 11:00～17:00

会場：釧路工業技術センター

申込：ホームページから申込みをお願いします。

【URL】 <https://hokkaido-dx-2024.pref.hokkaido.lg.jp/>

申込期限：1月22日(水)

お問い合わせ：事務局(受託者 アデコ(株)三木)

電話 050-3666-0106



10月21日にしべちゃ町農業女性カレッジ視察研修が開催され、16名の方が参加しました。

今回は、網走市の酪農家であり、女性農業者グループ、デイリーウーマンズの会長でもある佐藤幸枝さんにお話を伺いました。



しべちゃ町農業女性カレッジ



哺育牛

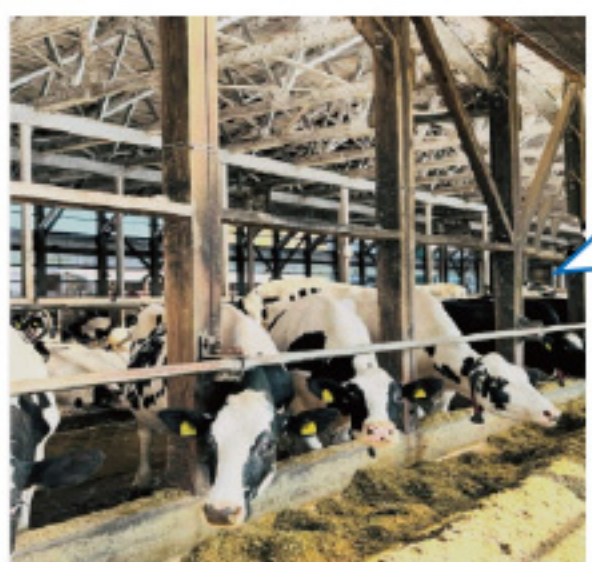
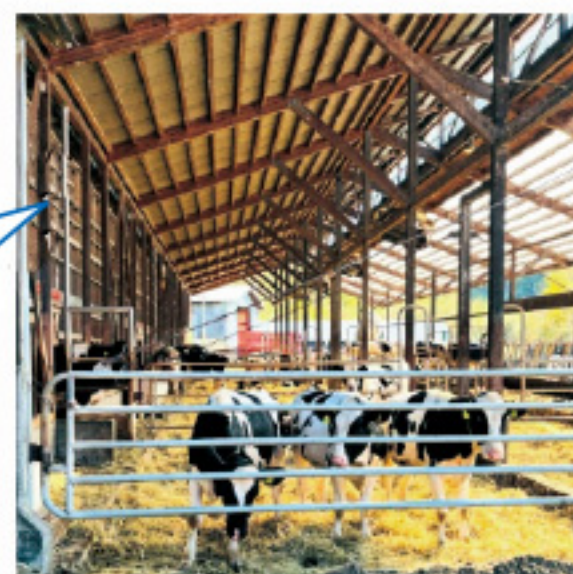
耐久性を考慮して、柱の間隔を既存の70cmではなく、50cmに変更して建設されていました。

また、日よけのための遮光ネットを遮光率にこだわって(遮光率85%)選んだとのことでした。

育成牛

育成牛にも活動量計(FarmnoteColor)を付けて、発情観察をしています。繁殖情報はFarmnoteを使っています。台帳のみの時に比べて効率的に管理できています。

育成牛にも暑熱対策が必要と考え、大型の送風機を導入しました。



搾乳牛

生産乳量を維持しつつ省力化をするため、2002年に搾乳ロボットを導入しました。ロボットを効率的に稼働させるため、搾乳スピードの速い牛を優先的にロボットに入れていきます。

暑熱対策には、日差しを寒冷紗で防いだり、高圧洗浄機を動力とした手作りミストを設置したりなど、経費を抑える工夫もされていました。

【カレッジスタッフからのコメント 🍷】

牧場の今に至るまでの経緯が、現場を見ながら話を聞ける視察は、楽しくて刺激になるな、と改めて思いました！

佐藤さんの学習会や、視察の中で本当に“良いな！”“必要だ！”と感じたものをすぐに取り入れる行動力が気持ちよかったです(^ ^)



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第7回「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そのため、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

重要な当選順位

参議院選挙の比例代表には、様々な業界や団体が代表候補を送り出し、いかに多くの票数を獲得し、当選順位を上げるかということにどの団体も惜しみなく努力しています。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。

過去の参議院選挙(比例代表)

2019年の自民党の比例代表の得票数順位を見てみると、第1位は郵政グループで60万票獲得しており、JAグループは約21万票でした。結果、郵政グループは悲願だった「貯金預入限度額の拡大」を実現しています。一方、JAグループの得票数は2022年の選挙の際には18万票まで減少してしまい、このままでは私たちJAグループの声、要望を実現することが困難になる危機的状況に陥ることになります。

問われる組織力

このように選挙の結果、業界や団体ごとの得票数が分かります。市町村別にも得票数が公表されます。この得票数によって我々JAグループの力が測られることになります。つまり、参議院選挙(比例代表)は、我が国の農業、JAグループのための組織選挙であります。

組織力の結集を!

多くの得票数を得て高い順位で当選した候補者は、政府・与党内での発言力が増し、政策の実現可能性が高まります。過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(最終回)は、「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について報告します。

郵政グループとJAグループ得票数の推移



自民党 全国比例区 得票数順位(2019年)

団体・業界	得票数	議員名
1. 郵政	60万票	橋本博文
2. (漫画など)	54万票	山田太郎
4. 防衛関係	24万票	佐藤正久
5. 建設	23万票	佐藤信秋
7. JA	21万票	山田俊男

※2022年 18万票 藤木しんや



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

最終回「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について

JAグループの声を!

JAグループの農政運動の目的は、「農政(農業・農村・農協政策)」にJAグループの声を反映させて、生産現場の課題解決を図ることです。そのため、農政を決定する政府・与党の中に、農業・地域・JAグループへの理解者を増やすことが農政活動の強化につながります。

組織力の結集を!

JAグループの様々な事業に対し措置されてきた予算・税制等の政策支援は、これまでの農政運動を通じて確保してきたものです。これらの政策支援を維持・発展させるためには、JAグループが団結して農政運動を行うことが必要です。組合員や役員一人一人の力は小さいですが、組織としてまとまることで「力」となります。

農政活動の強化に向けて!

国民への食料の安定供給、環境との調和、組合員の所得増大、農業・農村の持続的発展等に向けた生産現場の課題解決のために、今こそ我々JAグループの組織力の発揮が必要なのです。



働きかけと支援を!

農業の実情を知る議員がいることによって、政府・与党内に農業現場の実情を伝えることが可能となります。そのため、JAグループの声を代弁し、政府・与党に積極的な働きかけを行う議員に対して、組織でまとまり、活動を支え、連携することが、政策実現のカギとなります。

我々の代表を!

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、全8回連載いたしました。

Agriculture

石田邦雄の 農業斜め読み

互いに「自律型人財」を
目指す1年に

また新たな年が幕を開けました。本年もよろしく願いをいたします。

年の初めでもあり今回はこんな話しを。人はどのようにして成長するか？私は「人財開発のステップ」を「自覚」「自信」「自活」「自立」「自律」というように捉えています。その出発点は「自覚」にあります。そこで最近よく研修冒頭で紹介する詩があります。安積得也氏の「詩集一人のために」に掲載されている「未見の我」です。私はこの内容を「自分の内には自分の知らない自分が眠っている。それに気づけ、それを引き出せ」のようにこの詩を勝手に捉えています。人づくりに向けては、まずは自覚がベースになればと思うからに他なりません。

以前、国が運営する中小企業大学校旭川校で3日間の課長職を対象にした講義をしたのですが、その際、こんなことがありました。例により研修のスタートにこの詩を紹介し昼休憩になった時のこと。一人の受講者が私にこんなことをわざわざ言いに来てくれたのです。「先生。今回の研修ですが、実は私、『正直、面倒だな』と思い、会社にも『行きたくない』と何度も断ったのです。でも『順番だから』と聞き入れてもらえずやむなく参加しました。そうして研修の冒頭に先生が『未見の我』の詩を紹介され、小難しい文面で、当初は抵抗もあったのですが、隣の人と感想のやりとりをし、この詩を紹介された先生の意図を聞き、『私の内に眠っている自分を少しでも引き出せたら』と思ったのです。それで今回の研修では、先生に騙されたつもりで、受け身ではなく能動的に受講をと思っています。その気持ちを先生に伝えたくて」と。その言葉に「有り難う。とてもうれしい」と感謝と率直な私の気持ちを伝え、逆に受講者から背中を押されたような私がおりました。さて「自覚」の次は「自信」です。私は教育の基本は、この「自信をどう持たせるか」がとても重要な意味を持つと思っています。そうすると、褒めるや励ます、あるいは勇気づけなどはもとより、加えて公正に評価するなどが重要になります。次が「自活」で、これは自主管理活動の推進や自己啓発などがそれで「自分で自分を活性化させ価値ある仕事に」ということになります。次に控えるのが「自立」で、全て自分の責任においてやるや、自分が主役になり経営者感覚をもって仕事にあたり「自分でなければできないことの創造」などになろうと思います。さらにもう一步高め求められるのが、同じ「じりつ」でも「自律」です。即ち、善悪を初め「自分を律する人」であることが要求されます。私は「自律型人財」について次のように定義づけています。「常に利他の心を忘れず、周りからの指示がなくても、高い使命感などを持ち、自分を律しながら主体的に行動し自ら成長していく人」と。こうした過程を経ながら人は己を磨いていくことになります。

ところで皆さんは「人材育成に関する『7:2:1の法則』」というのをご存知でしょうか？これは米国のロミンガー社が行った調査結果に基づいた考え方で、その内容はこうです。「仕事による経験からの学びが7割」、次に「上司や顧客など他者からの学びが2割」、そして「研修や書籍からの学びが1割」のことをいいます。とすると「経験に勝る学習なし！」といえそうです。そうこう考えると、よくいわれる「OJT(On-the-Job-Training: 職場内教育)」とは、まさに「経験の場づくり」ともいえます。時には多少、本人が乗り気でなかったにしても、その成長を信じ、あえて難しい仕事を与えるのも「人育て」においては大切といえるでしょう。もしうまくいかなかったにしても、失敗はキャリア形成上、とても重要で「失敗に勝る学習なし！」といっても過言ではありません。それに関しこんな言葉を。

「成功の反対は失敗ではなく、失敗から何も学ばないことである」

この言葉は大変深い意味を持つように思うのですが。

新たな年を迎え互いに失敗を恐れず、物事に果敢にチャレンジをする…そんな自分磨きの年にしたいものですね。

釧路農業改良普及センター通信

子牛施設の直射日光対策

子牛の適温域は13℃～25℃であり、寒さだけではなく、夏の暑さにも注意する必要があります。今年の夏に向け、地区内に取り組まれている日よけ事例についてご紹介します。

○テントシートの事例

テントシートをカーフハッチに掛け、日陰を作った事例です。地面からの熱や日光の照り返しを受けやすい、子牛の高さで温度を測定しました(写真1)。



写真1 テントシートで日陰を作る

○ブルーシートの事例

比較的安価なブルーシートを使い、ビニルハウス内ハッチに対して日陰を作った事例です。測定時の屋根内側と外側の表面温度差は、約5℃でした(写真2、3)。



写真2 ブルーシート内側



写真3 ブルーシート外側

○寒冷しゃ・遮熱シートの事例

写真4は、ビニルハウスの上から寒冷しゃを張り、直射日光を防いだ事例です。

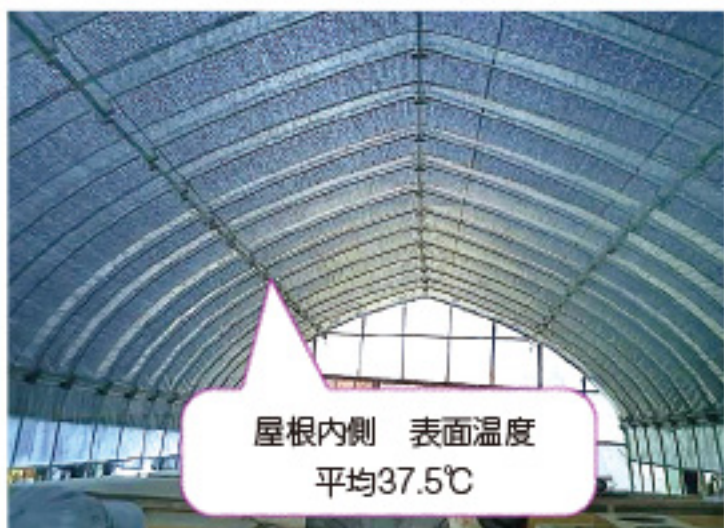


写真4 寒冷しゃを張り日光を防ぐ



写真5 寒冷しゃと遮熱シートの併用

写真5は、寒冷しゃでは防ぎきれなかった直射日光への対策に、遮熱シートを併用した事例です。2つの事例の内側の表面温度を測定すると、10℃の差がありました(写真4、5)。

○注意点

日よけ対策と同時に、換気が重要です。開口部を設け、空気の流れを作って施設内の温度・湿度の高い空気を乾いた外気と入れ替えましょう。

今回紹介した資材は、それぞれ価格が異なります。導入の際は、予算や目的に合ったものを選びましょう。

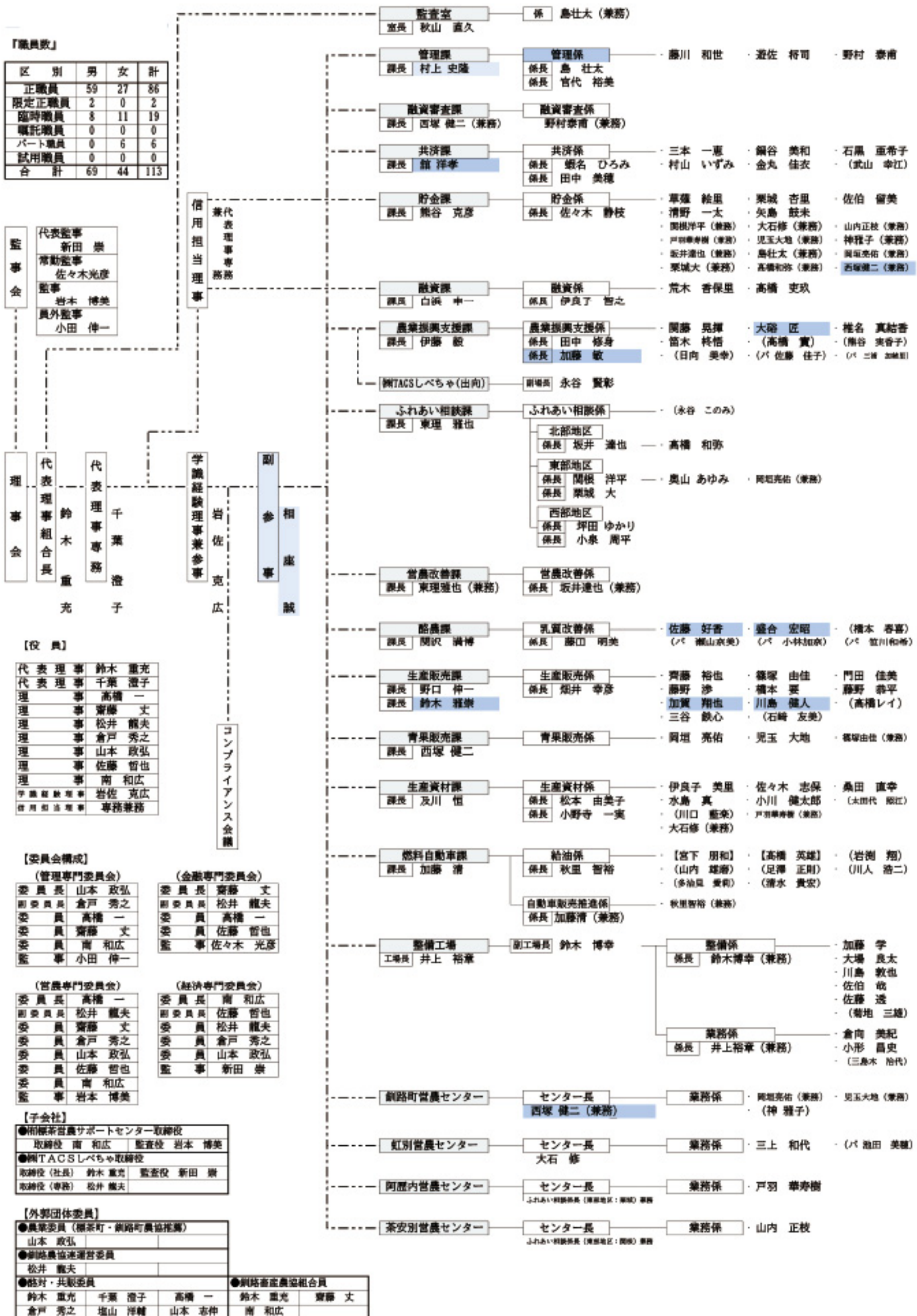
泌乳牛への暑熱対策についても現在資料を作成中です。

詳しくは、普及センターへご相談ください。

釧路農業改良普及センター ホームページ

JALしべちや組織機構図

2024年12月14日





ヒートショックに注意!

気温の変化により血圧が上下し、心臓や血管の疾患が起こることをヒートショックと言います。

次のチェックリストに該当する場合はヒートショックの対策をして入浴をするようにしましょう。

- ・ 65歳以上である。
- ・ 高血圧、糖尿病、動脈硬化がある。
- ・ 肥満、睡眠時無呼吸症候群、不整脈がある。
- ・ 浴室に暖房設備がない。
- ・ 一番風呂が好き。
- ・ 熱い風呂が好き。
- ・ 飲酒後にお風呂に入ることがある。
- ・ 30分以上お湯に浸かっている。

コート・シューズ予防のポイントは…

- ① 脱衣所に暖房器具を置き、脱衣所と浴室を温めましょう。
- ② お風呂の温度はあまり高めにしなすようにしましょう。
- ③ お風呂から出る時は必ずゆっくりと立ち上がるようにしましょう。

暖房器・除雪に注意!

厳しい寒さと除雪の季節が到来しました。屋根の雪下ろしやストーブの排気口の周りの除雪はしていますか? 道内では毎年、雪による事故が多発している為、次のことに注意しましょう。

- FF式ストーブの排気筒が雪に埋もれた状態や落雪等によって破損した状態で使用した場合は不完全燃焼を起こしやすく、これらは一酸化炭素中毒の原因となりますので注意して下さい。
 - 雪下ろしを行う際は屋根の下に灯油タンク、車などが停車していないか確認し、特に屋根の下に人がいない事を必ず確認してから行って下さい。作業の際は命綱やヘルメット、携帯電話を身につけて作業を行きましょう。
 - 気温が温かい日は、屋根の上の雪が滑りやすくなり転落する危険性が高まります。また、風が強い日や吹雪の日はバランスが崩れ転落する危険性とともに、はしごや脚立が倒れてしまい降りられなくなる危険性があります。
- ※ 屋根の雪下ろし作業の事故は屋根やはしごからの転落、1人で作業をしている時に発生しやすくなっております。作業をする時は、2人以上で行い事故を未然に防ぎましょう。

謹賀新年



火の用心



第11回 理事会

協議事項

- ① 出資金の減額について
- ② 第8回営農専門委員会の経過について
- ③ 新規就農にかかるリース貸付(案)について
- ④ 地区別懇談会提案事項(案)について
- ⑤ R6秋 地別懇談会提案資料について
- ⑥ 固定資産(構築物/発電機常設関連)の取得(案)について
- ⑦ 職制規程、諸手当の一部改正(案)について
- ⑧ その他

謹賀新年

代表理事組合長	鈴木重充	代表理事専務	千葉澄子	理事	高橋 斎藤 松井 倉戸 山本 佐藤 南	学識経験理事	岩佐克広	代表理事	新田崇	監事	佐々木光彦 岩本博美 小田伸一	員外監事	
---------	------	--------	------	----	---------------------	--------	------	------	-----	----	-----------------	------	--

information

◆ 11月単価一覧 ◆

項目	全道	管内	JALしべちや	
乳脂肪分	1,410.51	←	←	円/kg
無脂固形分	588.81	←	←	円/kg
補給金①(乳・チーズ・生クリーム)	6.96	←	←	円/kg
集送乳調整金②	2.09	←	←	円/kg
乳脂肪率	4.22	4.22	4.24	%
無脂固形率	8.92	8.91	8.88	%
成分乳価③	112.00	111.91	112.13	円/kg
乳質乳価④	3.81	3.84	3.89	円/kg
乳代合計①+②+③+④	124.86	124.80	125.07	円/kg
前年同月乳代単位	120.14	120.44	120.10	円/kg

◆ 11月乳価乳質 ◆

ランク	単価 円/kg	全道			管内			JALしべちや			
		乳量 (t)	比率 (%)	金額 (千円)	乳量 (t)	比率 (%)	金額 (千円)	乳量 (t)	比率 (%)	金額 (千円)	
生菌数	1 (1.45%)	2	306,235	97.0	612,469	399,961	96.1	79,922	11,954	97.0	23,909
	2 (1.55~1.45)	0	9,286	2.9	0	1,627	3.9	0	353	2.9	0
	3 (10.55%)	-3	120	0.0	-359	14	0.0	-42	14	0.1	-42
	合計		①		②	④		③	⑦		⑧
合計			315,640	100.0	612,110	41,602	100.0	79,880	12,322	100.0	23,867
体細胞数	1 (30.45%)	2	291,572	95.0	583,144	39,503	96.6	79,006	11,878	97.7	23,756
	2 (30.45%)	1	12,448	4.1	12,448	1,266	3.1	1,266	285	2.3	285
	3 (30.55%)	-2	3,057	1.0	-6,113	113	0.3	-226	0	0.0	0
	合計				③			⑥			⑨
合計			307,076	100.0	589,479	40,882	100.0	80,046	12,163	100.0	24,041
受取金額				②+③	1,201,589		⑤+⑥	159,927		⑧+⑨	47,908
拠出金額				①×⑩	1,201,589		④×⑩	158,372		⑦×⑩	46,906
差引					0			1,555			1,001
乳質乳価受取単価				(⑤+⑥)÷④	3.81		(⑧+⑨)÷⑦	3.84		(⑩+⑨)÷⑦	3.89
乳質乳価拠出単価					3.81円/kg…⑩						

◆ 11月生乳計画生産状況 ◆

単月			累計		
実績 (t)	前年比	計画比	実績 (t)	前年比	計画比
12,322	102.6%	97.7%	103,529	100.4%	95.0%

??まちがいさがし



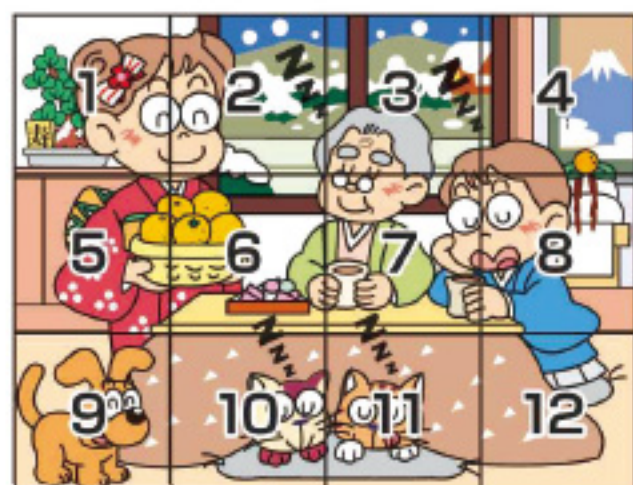
右のイラストには左のイラストと
違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



★正解者の中から3名様に牛乳券をプレゼント！ ハガキ又はファックスで送ってネ…!!

◎締切りは1月15日消印有効です。

多数のご応募を頂きありがとうございます。正解者の中から抽選の結果下記の方々が当選致しましたので後日牛乳券をお送りいたします。



12月号の答えは
1,4,7,8,10

- ①…流れ星がない
- ④…靴下の模様が違う
- ⑦…袋が破れている
- ⑧…帽子の先の向きが違う
- ⑩…リボンが長い

12月号の当選者発表

おめでとうございます

小玉 瑠華 様
石黒 千恵子 様
高橋 敏弘 様



日頃より、農協だよりを愛読して頂きありがとうございます。これからも皆さまに愛される農協だよりを作成するためにも、皆さまからご意見・ご要望・ご感想を添えて、営農部農業振興支援課 (TEL015-485-2125/FAX015-485-3830) までご応募頂けますようよろしくお願い致します。

キリトリ

営農部農業振興支援課 JAだより編集部 様

1月号の答え

名前

様

〒

住所

ご意見板

.....

.....

.....

FAX 485-3830



JALしべちゃ 1月 カレンダー

日 (SUN) 月 (MON) 火 (TUE) 水 (WED) 木 (THU) 金 (FRI) 土 (SAT)


			1 元旦 ○年末年始休業	2 ○年末年始休業	3 ○年末年始休業	4 ○年末年始休業
5 ○年末年始休業	6 ○御用始め ○朝礼 ○朝卸 ○一般市場	7	8	9 ○十勝市場 (和牛)	10 ○一般市場 (初乳のみ) ○フレッシュミズの会 家族交流会	11
12	13 成人の日	14	15	16	17	18
19	20	21 ○十勝市場 (F1)	22	23	24 ○乳牛市場 ○女性部 料理講習会	25
26	27	28	29	30	31	2/1
2	3 ○育成市場	4	5 ○十勝市場 (和牛)	6	7 ○フレッシュミズの会 手芸講習会	8



組合員動向

- ▷ 正組合員数 : 303 名
- ▷ 准組合員数 : 1,026 名 (1名減)
- ▷ 畜産農家戸数 : 257 戸
(うち搾乳農家戸数 : 184 戸)
- ▷ 野菜農家戸数 : 10 戸

令和6年11月26日現在 (合計 : 1,329 名)



広報担のつぶやき

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

皆様は年末年始をいかがお過ごしでしたでしょうか。私は毎年のことながら、「正月太り」をしてしまい、さらに寒さに強い体になりました。健康診断までに改善しなければと思うところですね。

今年も皆様にとって素敵な1年になるようご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



Good酪 第598号
発行日 / 令和7年1月1日

発行 / 標茶町農業協同組合
〒088-2311 川上郡標茶町南運9丁目6番地
TEL (015) 485-2103/FAX (015) 485-1470

発行人 / 代表理事組合長 鈴木 重充
編集 / 営農部農業振興支援課
印刷 / 有限会社 山内商店